

## 〇9月分要約

- ・地方の切捨合併は、生活環境の悪化により、ますます過疎化が進行しないか心配している。高齢者や日の当たらない地域にも暖かい行政を希望する。(一志町)
- ・合併を機会に、各市町村がかかえているムダを削除してほしい。新しい町づくりは、中央にかたよるのではなく、各市町村がもっている特色を生かして欲しい。(津市)
- ・三重ふるさと新聞の森先生の意見に同調します。議員のみの特権は認められません。是非この線にて実現をお願い致します。高齢化対策には津市の三交の無料バスを月2.3回発行(往復)すること。少子化対策として満5歳までの乳幼児は医療の無料を強く進めて下さい。子どもを増やさなければ郷土(日本)は、駄目になる。遠隔地(美杉村・美里村)の対策は十分に配慮をお願いする。(久居市)
- ・合併しなくても都合の悪い事が目に見えないので、合併は意味があるのかなと思う。(河芸町)
- ・福祉面での充実を望みます。高齢者・障害者が安心して暮らせるようにサービスを独自に立ち上げるのもいいと思います。バリアフリー先進市をめざして下さい。美しい街づくりということで、タバコのポイ捨てに罰金をとるとか条例を是非作って下さい。(津市)
- ・市町村議員の給与は、従来そのままとするか、或いは合併と同時に選挙して適正な定義を定めて、発足するかして欲しい。(河芸町)
- ・長引く不況下での公費の無駄使いは、もってのほかと思う。新市の議員定数は、原則に沿ったものであるべきと考える。従がって在任特例は論外であり、定数特例についても容認すべきではないと思う。(津市)
- ・合併市町村の分離の検討の当局案等とのメリット・デメリットの比較表を今後作成してほしい。(津市)
- ・津には、地区大会ができるテニスコートをぜひ作ってほしい。サイエンスシティーに、大きなスポーツ公園を作してほしい。(津市)
- ・自治会は行政の末端組織でなく先端であるべきだが、その自治会長(連合会)役員が各種団体長(役員)と共に行政側に組していることに問題がある。合併問題が行政職員等のリストラをすすめることに役に立たない最大の問題がある。(久居市)
- ・今回の合併は、大きすぎて美杉村の様な所は何もかも津市の色に染められるように思い、老人に負担が多くのかかって来る。税・水道料金・介護保険料等の出費に泣かされない良い生活が出来るとしてほしい。山村の者が都市と同じ生活が出来るとしてほしい。(美杉村)
- ・この地域らしい町づくり、自然を美しく残し地球にやさしい町として統合してほしい。地場産業の活性化することと、失業者をなくすことを、つなげて暮らしやすいまちづくりをしてほしい。(津市)
- ・従来まではある程度区域もまとまって行政が進行されてきた。しかし10の市町村という大きな地域になり、何がメリットでデメリットになるのか分析している点を質問したい。市民生活がよくなるような合併にしてほしい。(津市)
- ・合併にともなう議員の定数及び任期問題(退職年金を含め)の合併特例法による規程は適用すべきではない。地方自治法による合併後50日以内に新議員(定数38人)の選挙を行うべきである。(白山町)

・店がとなりのもらい火を受け多額のお金を失いましたが、津の街はなんの補助も助成もありません。火災の元になった人からの謝罪もなく、こんな事で協力しあつたまちづくりなんてできないような気がする。(津市)

・議員定数は合併の時日にて選挙する。環境については、汲取り・ごみなどを津市・久居・一志・白山町で、一ヶ月交代とする。職員は、一家族に1人とする。臨時はよい。(美杉村)

・合併については現在のままで結構です。由緒ある久居市の名称がなくなるのが残念です。大きくなった所で住民の生活は、そんなにも良い方に変わらないと思う。大きくなる程人間関係のつながりが薄くなると思う。物事も小さい方がまとまり易いと思う。職員の数も多少は減るでしょうが、その方も生活がかかっているのですから如何かと思う。絶対反対。(久居市)

・議会議員の特例適用(任期定数)は、全て必要性が見当たらない。加えて現在の厳しい行財政を考え合併の原点に立って市長と同時選挙の施行により市民の期待と信頼に支えられた夢と希望のもてる新市のスタートをしていただきたく要望する。(河芸町)

・新市の議会議員は合併の主旨並びに合併期日から判断して特例(任期・定数)を適用する必要性が全くない。議会議員は今日の厳しい行財政を自ら理解して、率先行動して、今日の政治に対する住民の信頼をこの際、高めていただきたい。議会議員のお手盛りについて、住民は重大な関心を持って見守っている。(河芸町)

・市長・議会議員の同時選挙により、名実ともに新津市のスタートを要望する。今日までの合併市町村並びに関係機関のご努力により、特に議会議員の特例(定数・任期)は、実態として無用です。むしろ合併市町村の一体化を促進する面で支障をきたしかねない存在になりかねません。今後は、新しい市長・新しい議員と地域審議会による市民中心の新しいまちづくりの推進を願っている。(河芸町)

・風体験資料館の建設は白紙に戻すべきである。全国各地で似たような施設のほとんどが赤字である。将来少子化と、債務のつけを子孫に残すことは明らかである。榊原温泉に限らず各地温泉が多くなったのが原因でもあり、温泉組合で復興策を考え市も協力すべきである。(久居市)

・各市町村によって、上下水道料金に差があるという事ですが、料金が上がるのには反対です。合併についての説明会や意見交換会を細かい地区分けで行って下さい。(津市)

・議員の残報酬について、合併後2年とか1年とか耳にするが、合併後は議員失職ですから報酬はいらないと思う。それは選挙のときに分かっていることです。絶対に渡してはなりません。税金の無駄遣いにほかならないからです。(一志町)

・基本4項目については賛成です。今後各市町村の庁舎、付属建物等で下部行政機構がそのまま存在するのか、例えば「津市」〇〇支所等で残存する予定か、今後の重要課題として議論されると思慮されるが、その都度公表を期待している。(白山町)

・不況によるリストラや年金額の減少等、新市民の生活や新市の財政は厳しいものと思われる。特に議員の在任特例措置をそのまま認めるのは如何なものでしょう。市民に納得のいくかたちにすべきであると思う。報酬のカット等です。新市民のすべてが何らかの形で合併の恵を受けるようにすべきです。在任議員のみが思恵を受ける様な合併にしてほしくありません。協議会での真剣な議論を期待致します。(河芸町)

・9月号「給食施設の整備と学校給食の実施方法」について 自校方式で・センター方式のコストは民間活用に比べて高いと思う。財政健全化のためにも民間活用を図るべきだと思う。域内でも犯罪が増加しているが、一方では交番の統廃合も行われている。地域ボランティアによる交番的な施設の配置、人員配置を考えて頂きたい。(津市)

・県都として津市は活気がない。衰退するばかりである。市制は全くなっていない。大道団結して県都として30万都市を作ってほしい。(津市)

・津市が全国が注目するような若者参画する画期的な市作りをめざしたいものです。(美杉村)

・新市の名称、事務局の位置など10市町村の中心に事務所を考えてほしかった。遠い所(美杉村太郎生)から市役所へ考えただけでも、将来性が消えてしまう。せめて、現在の支所(市民センター)を活かして不便な美杉村にも行政とのパイプとして残してほしい。(美杉村)

・第9回の合併協議会を傍聴した。特に、将来のフレームの項で目標人口数の記載数、290,400した経過についての回答が、されませんでした。担当者は施策を十分に知ったうえで会議に出席すべきである。(津市)

・移動図書館ちどり号が、なくなり残念である。数字の上で利用者が減っても、社会的弱者のために続けるべきだと強く思います。合併して良い所も”全て平等”の名のもとになくなっていくのはヘンです。(津市)

・住民説明会のまちづくり説明会のみでなく、もっと仕組みを作り住民の声が届くよう考えて欲しい。協定内容、過程を明らかにならない段階で建設計画の意見が出ないし、新市の姿が浮かび上がって三位一体となった合併の判断をする必要がある。説明会を多く持って欲しい。(安濃町)

・現在の市町村合併の取扱で良いことはとり入れ、無駄なところは省いていってほしい。かけこみの建設はやめるべき。細かな取扱いを合併までにきちんと決めておいてほしい。現場の担当の職員にまで行き足るように徹底してほしい。オンラインのトラブルなど絶対にないようにしてほしい。(津市)

・合併の是非は市民投票で決定することが原則である。市議会のみで決定することは、市民を無視した方法であるので、直接市民参加のできる投票で決定するよう強く要望します。市民の90%以上の方が全く無関心状態であるので、各自治会毎に、市の説明会及び、意見交換会を行うようにして欲しい。合併された場合の市名は、久居〇〇町と、久居を名記して欲しい。(久居市)

・一部町長、議長等のレベルの低すぎる質問や要望に議長(津市長)の苦勞の程がよく分かりました。(津市)

・桑名・四日市・松阪・亀山・上野の各市には、市民病院が存在するのに対して津地区には無く、合併を機に設立を検討して頂きたい。又、県庁所在地として市民病院がない都市は、全国的にも少ないと思う。(津市)

・地較的健康な高齢者が診療所等へ行く時に地元のタクシーは高すぎるので無料か安価で利用できる車での送迎サービスを設置してほしい。(美杉村)

・合併と同時に市長、市議会の選挙をやって下さい。(河芸町)

・ゴミ分別の方法・水道料金従来通りにしてほしい。(久居市)

・10市町村合併して津市になるが、名張市の方が近いところもある。(河芸町)

・議員の特例は絶対にやめてほしい。最初から正しい定数で選挙を希望します。かけこみのハコ物造りは将来の事を考えればできないはずです。住所表示についてですが、〇〇町〇丁目〇番〇号としたら、わかりやすいのではないのでしょうか。場合によっては町の境界の見直しも考えてもいいかと思う。(久居市)

・全都道府県あちらこちらで合併していますが、合併して良い点・悪い点などをよく見聞きして、慎重に考えて欲しい。市の名前は、応募で決めるべきだ。合併した後も大変だと思う。(津市)

・津市で行われている学童保育の存続を強く希望する。学童保育がなくなれば、夕方6~7時頃繁華街をうろついたりコンビニエンスストアにたむろする小学生が増え、犯罪(将来のも含めて)の温床となる。児童福祉の面からもぜひ残して頂きたい。(津市)

・『津市』のモットー『自然環境と調和した市民による市民の為の都市』実現の為には、あらゆる障害を排除して現行制度の行政機構を徹底的に簡素化すること。これを補うものとして、各種NPO組織(市民の知恵と力)と行政の一体化を行うことが最優先課題と考える。(久居市)

・公立幼稚園の3歳児保育の実施と、中学校給食の導入を、新市で取り組んで欲しい。乳幼児保育の実施してほしい。不妊治療費の補助をしてほしい。(津市)

・学校給食について、久居市だけ中学は弁当は昔から変わらず、なんとか給食にしてほしい。(久居市)

・「お便り」とあるが、不適切である。「意見・要望」である。「してほしい」という言葉が多すぎる。行政への甘え、財政を悪化させてまた住民の無責任、その意識を改めないかぎり合併という形だけの改革でいかない。(安濃町)

・合併してもらって構いませんが、安濃津にすべきです。(安濃町)

・30万都市となり財政力は歳入面で増大しても、借金(公共事業等)が増すのではないだろうか。行政サービス面で1人当たりの経費は上がり、今より負担が増大するのではないだろうか。(安濃町)

・合併後に使用する住所を、例えば「津市香良洲町〇〇〇町△△△番地」とする。地区名の前に「香良洲」を前置する。地区名の後に「町」を追記する。(香良洲町)

・新市の建設計画のかなめはやはり幹線道路の充実であると考え。これからは新津市中心部への道路整備が主となるべきと考え。(工業団地等へも)ネックとなっている各旧市町村界附近の道路改良を優先すべきと考え。具体的には以下の地域を結ぶ道路(改良も含む)が必要と思う。① 津市の片田工業団地と久居市の戸木工業団地(新設)② 津市半田磨洞温泉と久居市北口町(改良)③ 一志町井生と白山町川口御衣田(改良)④ 一志町波瀬室ノ口と美杉村下之川山口(改良)等、南方と山間部の道路が悪いように思う。資金はたくさん必要かと思うが(負担金等)住民の方々に市町村の合併効果が目に見えてわかると思う。いろいろな道路事業を組み合わせ、又、国県等に陳情していけば成っていくものである。(津市)

・久居市に住む者ですが、「久居」という名前は残してほしい。(久居市)

・合併したら、美杉村は都市部ごみ捨て場になる。合併後はごみ捨て場にならないように。(美杉村)

・津地区合併による合併が予想される地域の区域図を判りやすく作成して配付下されば、それを参考に更に良きご意見も出されるものと思う。(一志町)

・合併後も中勢身障福祉協会を存続していきたい。(安濃町)

・敬老会は満75歳以上とし、旧市町村単位で行うこの経費は、津・久居両市は少なく、美杉・美里は多く配分する。敬老祝い金は、満80歳以上とし、商品券をもってお祝いとする。三交の無料バス券を月に3回分配付する。在宅老人の集団検診を半年毎に自治会単位で行う。(久居市)

・議会の議員全員が横すべりで新市の議会議員として残存する。任期特例は新市へ旧体質を持ち込み、新市の一体化を阻害するとともに、今日の厳しい行財政を無視するものです。特に議会議員自らの独善的な策動が目立ち、地域住民からの批判が高まっております。定数特例の導入についても同様に反対します。新市の建設計画並びに地域審議会の充実強化で導入を阻止して市長と同時選挙により、名実とも新市のスタートを強く要望する。(河芸町)

・新市の自治会数は約850になるように聞いていますが、これらの組織の調整がまず必要だと思います。中でもごみ処理対策について現状各市町村において若干分別方法が異なるので、その点、最もベターな分別方法を検討調整して、今後の環境対策に役立つように詳細に研究するように願う。(久居市)